

(二月のことは)

宗家

い話をしよう

理想を求めよう

それが出来てこそ岳精会だ

「吟をやる人に悪い人はない」と祖宗ヶ範はよく仰った。これは祈りであり、良心同志でお付き合ひが出来ると言うことだ。い話をやりとりすると元気が出る。良いものだ。また昔、「理想は中々現実になり難い。だけど、理想を求めてこそ政治家というものだ」と首相中曾根康弘氏が言った。党利党略や現金な話ばかりでは国民は元氣も出ない。ましてや私は岳精会だ。理想を追い求め、その岳精会だ。い話、感動させられる話は、はいある。何も歴史上にはばかり人を求めないでよい。身近に素晴らしい人はいるし、頭が下がる人がいる。讃えさるべき人がいる。目を見開こう。理想を求め、目線で見れば岳精会は宝の山だ。

「春は枝頭に在りて己に十分だ」
 今年、元号が改まる。良い機会だ。改めて良き社会であることを念じ、岳精会ならびはの清々しい香氣あふれるお付き合ひをしよう。
 さあ今年も「吟玩心」、元氣に吟しよう。

平成三十一年二月

※「春は……」
 春を探る・戴益 天の巻 197ページ